**忖　度　(2019/05/24)**

「鬼の首か忖度か」という社会現象の言葉。

連続清音のため歯切れよく、

抵抗なく耳に到達する。

だが、この言葉、人間社会を分断する。

忖度を受けた人間は、

同じように忖度を受けた人間に我慢できない。

忖度を受けなかったと思い込む人間は、

もっと我慢できない。

しかし、冷静に考えれば、忖度を無くして、

人間社会は成り立たない。

線引きは、合法か非合法かであるが、

民主主義国の制度では、この建前が裁定不可で、

絶対に機能しない。

それ故に、選挙こそは、

忖度の日々実現の場であり、

攻める野党の連中も忖度の結果、

国政の議会へ送り出されている。

しかも、合法とは限らず、

非合法の結果の場合が多々ある。

身を粉に、忖度する側が励む

違法事前活動、事前違法会合、違法動員。

比例代表順序付け、違法ポスター、

違法中傷、違法情報流し、

などなど。

我々も、例外なく様々な人々の忖度の結果、

今日に到っており、忖度を再認識し、

今まで以上に忖度に感謝と敬意を！

そこで、三句

「人」の巻：

**いつまでも　あると思うな　親（金？）と忖度**

**「地」の巻：**

**いつまでも　あると思うな　票と忖度**

「天」の巻：

**いつまでも　あると思うな　国と忖度**

以下余白